

N-4 : 参加者ネットワーキング

開催日時・会場 9月18日(金曜日) 13:45 - 15:15 会場F

プログラミングによるデータ分析の生産性向上 Code for Research Administration

研究力強化のため、研究力分析(研究IR)の実務担当者は、高い分析のパフォーマンスを発揮することが求められています。多くのURAが同じ情報(書誌DBや科研費DBなど)を使っていることから、データ分析に関するノウハウの共有やツール開発など、URA同士で協力できることがあると思っています。PythonやRを用いたプログラミングによるデータ分析の生産性向上に関心のある実務担当者が集まり、ノウハウの共有等の可能性について議論します。

セッション担当者(ファシリテーター)



平井克之 : 新潟大学・研究企画室・主任URA

日本郵便にてコンプライアンス、人事、業務企画部門等を経て、2015年10月から現職。プレアワードと研究IRを担当。PythonとSQLで研究力分析の効率化を目指しています。